

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ調律理論 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ調律理論 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	31回(62単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に勤務後、フリーランスの調律師として活躍中。				
授業概要					
調律師になるために必要な知識(調律理論、構造理論、修理理論、整調理論、音響物理学、音階の歴史)について学ぶ。					
到達目標					
それぞれの理論に対する知識の習得。ピアノ調律技能検定試験に出題されるため、合格を目標とする。					
【前期】 1～2回目	調律について ・調律の定義 ・調律工具の使用方法 ・調律時の基本的な姿勢の取り方 ・打鍵の方法 ・チューニングハンマーの操作方法 ・0点を確認するためのハンマー操作とうなりの聞き方				
【前期】 3～4回目	アップライトピアノの部品とその動き				
【前期】 5～8回目	材料学について ・木材 ・金属 ・繊維 各部品について ・鍵盤 ・フレンジ ・センターピン ・プッシングクロス ・響板 ・響棒 ・フレーム				
【前期】 9～10回目	ピアノ史について ・ピアノの歴史と作曲家を照らし合わせながら、ピアノがどのように変化し、普及していったか それぞれの部品ができた年代や機構の違いなどについても学ぶ。				
【前期】 11回～15回	修理について ・白鍵貼り替え ・鍵盤プッシングクロス交換 ・センターピン交換 ・フレンジプッシングクロス交換 ・張弦				
【後期】 16回～22回	整調について ・調律の定義 ・アップライトピアノの整調(全24工程の工具の使用方法、作業方法を実演と合わせて説明) 第1工程:ネジ締め 第2工程:鍵盤調整 第3工程:センターレール直線調べ 第4工程:打弦距離 第5工程:ハンマー間隔・弦合わせ 第6工程:ウイベン間隔直し 第7工程:から直し 第8工程:キャプスタンボタン調整 第9工程:鍵盤ならし 第10工程:鍵盤間隔直し 第11工程:キャプスタンボタン再度調整 第12工程:バックチェック調整 第13工程:プライドルワイヤー左右調整 第14工程:鍵盤あがき 第15工程:ハンマー接近 第16工程:働き調整 第17工程:ハンマーストップ 第18工程:ジャックストップレール調整 第19工程:ダンパー総上げ 第20工程:スプーン掛け 第21工程:ダンパーストップレール調整 第22工程:ペダル調整 第23工程:プライドルワイヤー前後調整 第24工程:全検査				
【後期】 23～25回目	各部品について ・ピン板 ・ピンブッシュ ・チューニングピン ・ペダル ・支柱 ・打廻し ・駒(ベアリング) ・ピン				
【後期】 26～28回	音響物理学について ・音の定義、音の発生、音波、音の種類(音の分類、楽音の四要素)、倍音、音の性質(聴り、共鳴)について ・理想弦の条件、弦振動、弦振動の性質、打弦点と倍音、ハンマーの硬さと倍音について ・音程の定義、音程の種類、音程比、共通倍音				
【後期】 29～30回	音階の歴史について ・音階の定義 ・音階の種類:ピタゴラス音階、純正調音階、中間音整律、12平均律音階の作成方法と特徴				
【後期】 31回	割り振りについて ・12平均律の作成:4度と5度の聴りの目安など				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	音楽概論 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	音楽概論 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中学音楽講師として7年勤め、現在フリーランスとして活躍中。				
授業概要					
音程や音階の知識を中心に、調律理論 I と並行した内容を学ぶ。					
到達目標					
調律のスピードや精度の向上。					
授業計画・内容					
【後期】 1～2回目	音名について				
【後期】 3～4回目	調合について				
【後期】 5～6回目	長調について				
【後期】 7～8回目	音階について				
【後期】 9～10回目	反復記号について				
【後期】 11～12回目	音程について				
【後期】 13～14回目	短調について				
【後期】 15～17回目	関係調について				
【後期】 18～20回目	和音 主要三和音について				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器基礎知識-B		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器基礎知識-B	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
管楽器に関する基礎的な知識を学ぶ。					
到達目標					
管楽器に関する基礎的な知識を学ぶ。					
授業計画・内容					
【前期】 1回目	音程を変化させる仕組み: 自然倍音列、閉管振動、閉管振動、有効管長の理解				
【前期】 2回目	管楽器の構造: 構造の概念、ボア形状、キムカニズム、バルブ、各種パーツなどの理解				
【前期】 3回目	管楽器の取り扱い方法				
【前期】 4回目	木管楽器の取り扱い方法				
【前期】 5~6回目	金管楽器の取り扱い方法				
【前期】 7~8回目	金属素材: 楽器に使われる金属素材の理解 木材・天然素材: 楽器に使われる木材、天然素材の理解				
【前期】 9回目	樹脂素材: 楽器に使われる樹脂素材の理解 接着剤: 楽器製造、修理に使われる接着剤の理解				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器修理概論 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器修理概論 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
フルート・クラリネット・サクソ・トランペット・トロンボーン・ホルンを主な題材に、楽器ごと、修理内容ごとに点検法・メンテナンス法・修理手順・重点ポイント・応用法を講師による実演や、VTRを使用しての解説を行う。					
到達目標					
楽器ごとの修理方法を学ぶ中で、その構造と対処法を理解し、どんな状況でも修理対応ができる基礎力の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	フルート/クラリネット 取扱い、分解組立、掃除、オイルアップ				
【前期】 3～4回目	フルート/クラリネット タンポ調整				
【前期】 5～8回目	トランペット/トロンボーン/ホルン 掃除、オイルアップ、スライド調整、ロータリー調整、ピストン調整、抜差管調整				
【前期】 9～11回目	キョコルク交換、クラリネットジョイントコルク交換				
【後期】 12回目	サクソ 取扱い、分解組立、掃除、オイルアップ				
【後期】 13～15回目	木管楽器連動調整 フルート/クラリネット連動調整				
【後期】 16～18回目	サクソ タンポ調整				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器商品知識 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器商品知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース、管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
フルート・クラリネット・サクソフーン・トランペット・アクセサリーの楽器・製品解説。					
到達目標					
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴や売りなど、販売・修理知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～3回目	フルート概要・製品解説				
【前期】 4～6回目	クラリネット概要・製品解説				
【後期】 7～10回目	サクソフーン概要・製品解説				
【後期】 11～13回目	トランペット概要・製品解説				
【後期】 14回目	マウスピース概要・製品解説				
【後期】 15回目	リード概要・製品解説 リガチャー概要・製品解説				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律実技 I -B		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	調律実技 I -B	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	127回(254単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。				
授業概要					
実際にピアノを使用して調律する。調律時に必要な音階を演奏する。					
到達目標					
ひとつの鍵盤に張られている最高3本の弦を、ひとつの音にまとめるユニゾン調律の技術を最初に修得し、その後、オクターブ調律・平均律音階を修得し、最終的には1台のピアノを2時間弱で調律する。調律の確認を行うための演奏技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	調律の姿勢、工具の使用方法				
【前期】 6～10回目	外装の取り外し方法				
【前期】 11～32回目	中音・高音・低音ユニゾン調律				
【前期】 33～53回目	中音・高音・低音オクターブ調律				
【前期】 54～63	ピアノ演奏 半音階(完全8度)・半音階(長3度、短3度)・1オクターブ長調音階の指使いの確認、習得				
【後期】 64～73回目	ピッチ採り・割り振り				
【後期】 74～83回目	28C～64C ピッチ採り・割り振り、オクターブ調律、ユニゾン調律				
【後期】 84～93回目	16C～88C ピッチ採り、割り振り、オクターブ調律、ユニゾン調律				
【後期】 94～107回目	一台調律				
【後期】 108～117回目	測定器(YAMAHA PT)を使って測定。調律グラフに沿った調律ができているか確認。				
【後期】 118～127回目	ピアノ演奏 半音階(長6度、短6度)・半音階(完全4度、完全5度)・1オクターブ短調音階・2オクターブ長調音階・2オクターブ短調音階の指使いの確認と習得。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調修理実技 I-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	整調修理実技 I-B	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。				
授業概要					
調律理論 I で学んだ知識をもとに実習(反復練習)を行う。					
到達目標					
よく起こる故障に対し、原因を見定めて正しい修理・整調の技術を修得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1~14回目	鍵盤修理(白鍵上面、鍵盤ブッシングクロス)				
【前期】 15~28回目	センターピン交換・フレンジブッシングクロス交換				
【前期】 29~42回目	張弦				
【後期】 43~52回目	整調の24工程の講義を受けながら、アクションモデルを使用し作業の手順や工具の使い方を覚える。				
【後期】 53~62回目	24工程2回目。割り振られたセクション(低音・中音・高音)作業。				
【後期】 63~72回目	24工程3回目。2回目に割り振られた以外のセクション(低音・中音・高音)作業				
【後期】 73~84回目	24工程4回目。2.3回目に割り振られた以外のセクション(低音・中音・高音)作業。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器修理基礎		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	管楽器修理基礎	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	106回(212単位時間)	年間単位数	7単位
科目設置コース	ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
基礎的な作業の反復練習が中心。指定課題を指定期限内に提出することで、現場での納期と作業計画をシミュレーションさせる。					
到達目標					
フルート・クラリネット・サクソフーン・トランペット・トロンボーン・ホルンの修理方法の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～53回目	木管楽器リペア フルード 分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・バランス調整				
	木管楽器リペア クラリネット 分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整・キョコルク交換・バランス調整・ジョイントコルク交換				
	木管楽器リペア サクソフーン 分解組立・掃除・オイルアップ・タンポ交換調整				
【後期】 54～106回目	金管楽器リペア トランペット 掃除・オイルアップ・抜差管調整				
	金管楽器リペア トロンボーン スライド掃除・オイルアップ・停止帯フェルト交換				
	金管楽器リペア ホルン ロータリー分解組立・掃除・オイルアップ・紐交換				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ業界知識 I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ業界知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器業界の企業による製品・技術セミナーやリクルートセミナー					
到達目標					
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する					
授業計画・内容					
【前期】 1～6回目	就職講座とマナー実技				
【後期】 7～8回目	楽器業界の企業による製品・技術セミナー				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	販売実習		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	販売実習	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ/管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
実践的な接客や販売(販売する商品の提案や、当日までの準備、予算内での工夫など)について学ぶ。					
到達目標					
接客や販売の基本的なスキルを身に着ける。					
授業計画・内容					
【後期】 1~8回目	ESP学園主催イベントでの店舗運営について ・販売する商品の提案 ・予算計画 ・販売するための事前準備 ・売上の目標設定 ・接客体験				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					